

【取得に関しての RSB 社からのコメント全文】

日本に拠点を置く日本リファイン株式会社は、この度エタノールの精製工程技術に対応する規格として RSB 認証を取得致しました。このエタノールは LanzaTech の工業用鉄鋼プラントから収集される一酸化炭素廃棄物から生成されるものであり、LanzaTech も既に RSB 認証されている企業です。

日本リファインのビジョンは、現在の石化系溶剤を地上資源由来の溶剤のバイオ系溶剤に置き換える事、カーボンリサイクリング、イノベーションを通じて循環経済を促進し厳格な RSB 基準に準拠していく事にあります。我々はエタノールをさまざまなグレードに精製し、パーソナル製品、ホームケア製品などのアプリケーションに対応しております。又、具体的なサステナビリティに関する取り組みとしては、下記項目の実現を目標としています。

1. 地上資源由来の溶剤バイオ系溶剤ビジネスの強化
2. リサイクル・環境保全設備の展開
3. 永年培ってきた分離技術やエンジニアリング技術を活かした新技術、新ビジネスモデルの開発

これらは日本リファインの経営理念である「人類が持続的に発展できる社会を実現するために、『資源』『環境』『こころ』のリファインを業とし社会に貢献する」に基づいています。

日本リファイン社長である長谷川氏によると、「今回の認証取得により、当社の事業と永年培ってきた技術が世界におけるサステナビリティの真の担い手であることを示すことができました。今後新たに認証を取得したビジネスが社会的責任を果たす可能性に期待しています。」と述べています。

RSB 事務局長の Rolf Hogan 氏は認証取得にあたり、「日本リファインの素晴らしい功績を称えたいと思います。日本リファインが世界の RSB 認証事業者のエリートグループに加わった事で、彼らのリーダーシップとコミットメントは、きっと新たな人々をインスパイアする事になるでしょう。」とコメントしています。

更に、LanzaTech CEO である Jennifer Holmgren 氏は次のようなコメントを発表しています。「RSB 認証取得は製品のサステナビリティに対する信頼を築く事です。この一步を踏み出す事で日本リファインは社会的責任を果たし、循環型バイオエコノミーをサポートする真のリーダーシップを発揮していく事でしょう。パートナーである日本リファインや RSB と協力してサステナブルなサプライチェーンを構築していける事を誇りに思います。」